

< 垂水区の滝 > 滝の茶屋の滝 - 白滝川？（平尾雨水幹線） -

垂水区の「垂水」は、文字通り「垂れ水」つまり「滝」を表していますので、どこかに滝があるだろう... と思いながら調べてみると、山陽電鉄「滝の茶屋駅」のところに名残があることが分かりました。



その昔、この辺りには4つの滝（駒捨の滝、琵琶が滝など）といくつかの茶店があり、また明石海峡を通る船が飲料水を補給したのもこの辺りだと言われています。なるほど海には近い上、滝だけではなく南には淡路島も望めるため、歩き疲れた旅人が一服するにも絶好のロケーションだったと思われます。

滝の茶屋駅の西側に出ると、小さな水路が走っています。殆ど見過ごしてしまいそうな橋には「城が山橋」、水路には「白滝川」とい



う名前がついており、ここでも滝の名残が感じられます。

ただ、ふだんは水も少なく、滝らしい姿もない上、滝の茶屋駅の側からは事実上見ることができません。国道2号線側から見ると、

位置図



水が流れているのが分かるという感じです。（ここでは便宜上、「滝の茶屋の滝」と呼んでいます。）

< 一口メモ >

正式な名前を言うと、「白滝川」は「平尾雨水幹線」として下水道施設の1つとなっています。下水道は都市に不可欠な施設ではありますが、歴史や情緒という面からは少し残念な気がします。